

古賀智裕先生 : Ann Rheum Dis (2010) 69:1554-1561.

“抗 CCP 抗体における、RA 発症前の Epitope spreading”

Epitope spreading of the anti-citrullinated protein antibody response occurs before disease onset and is associated with the disease course of early arthritis

【背景】多くの自己免疫疾患の自己抗体では、例えば SLE の抗核抗体のエピトープは、発症前に拡大し、複数の抗体を保有することが、近々発症する予知につながります。今回は、関節リウマチにおける抗 CCP 抗体の候補エピトープのシトルリン化ペプチド抗体の動きについて検討されました。

【方法】36 名の RA 患者の発症前 (pre-RA) および発症後 (RA) の血清に対し、Vimentin, Fibrinogen, Enolase の 5 つの候補エピトープのシトルリン化ペプチドに対する反応を経時的に測定しました。

【結果】pre-RA 血清では、発症 1 年前から候補ペプチド抗体の陽性数は増加し、抗 CCP 抗体を含む候補ペプチド抗体価も pre-RA に比べて RA が有意に高値でした。UA から RA に進展しない患者血清 (UA-UA) と UA から RA に進展した患者血清 (UA-RA) の比較では、UA-RA のペプチド抗体価は、特にシトルリン化 Vimentin で有意に高く、陽性数も上昇していました。

【結論】今回、初めて関節リウマチの抗 CCP 抗体でのエピトープスプレディングが確認されました。欧行帰りの古賀先生が、ライデンの新情報を運んでくれました。(文責 阿比留)